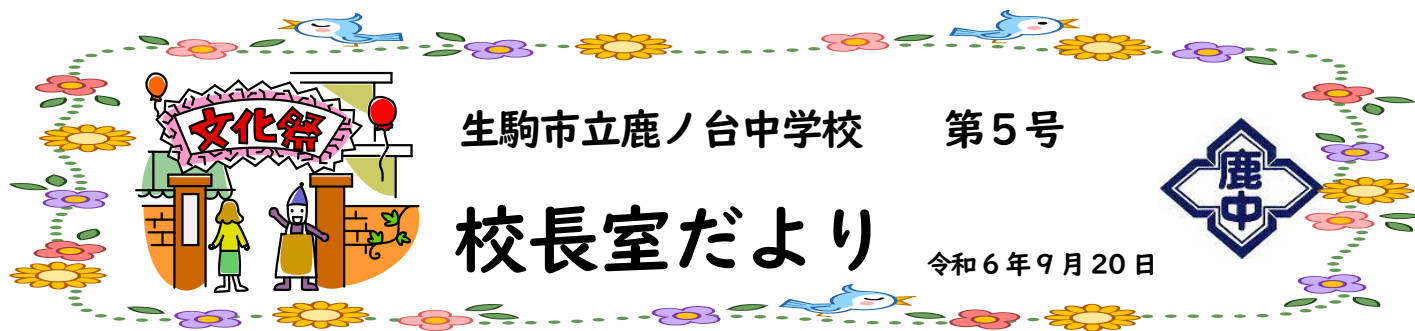




2024「1人1人の個性を魅(み)せた」鹿中文化祭

9月19日(木)、「文化祭」開会式の挨拶で、「今回の文化祭では、”直接目に映る情景”だけでなく、取り組む姿勢やそこに込めた発表者の”思い”に注目してほしい。そして、今年のスローガンにある『個性』を認め合うことで、自分で学んでいるだけでは気づかないことに気づいたり、わかっていたことがさらに深くわかったり、それまでつながりがなかった知識がつながったりするので、この大きな学校行事を通して教室での学習と異なる学びも充実させよう。」と呼びかけました。

さて、文化祭の1日を終えてみなさんはどんな学びを深めましたか？

夏休み前から舞台発表・展示発表の有志を募り、夏休み前の舞台オーディションでは、緊張しながらもこの行事で自分らしさを精一杯表現しようと努力する有志の姿がありました。各クラスでは、工夫を凝らしたデザインの学級旗制作が始まり、クラスごとの団結の思いを一筆ごとに込めた仕上がりとなりました。

1年生は、外部の講師陣との交流を通して学びを深めながら取り組んでいる「楽しく継続できるエコ活動」について展示発表しました。

2年生全員で取り組んだ「モザイクアート」では、気が遠くなるほど数多くの枚数のパーツをあわせることで、校外学習で訪れた京都の風景を見事、大きな1枚ものに描き上げました。

3年生は、修学旅行で訪れた鶴野飛行場で見聞した内容に基づく創作劇「1945年からの手紙」に全員で取り組みました。シンプルな演出だからこそ、スライドの映像、小道具・大道具類の効果が引き立ち、役者一人一人のセリフにも熱い思いが込められ、平和と命の尊さを深く考えさせられるとともに、胸を強く打たれるものがありました。

吹奏楽部の息の合った素晴らしい演奏、美術部の大きな作品完成に至る工程のスライド紹介、読書部の「ユーモラスかつ感情を込めた」読み聞かせ、息をのむ華麗な指さばきのピアノ演奏、美しい音色のバイオリン演奏、大勢の観客を前にした堂々たる歌声・バンド演奏、オーディションの時よりはるかに自信にあふれた動きや表情で臨んだダンス・・・いずれも本当に見事な発表でした。部活動、そして有志の展示作品は、美術部・茶道華道部・読書部の日頃の熱心な活動内容と、作品作りに向き合う「真剣さ」がそのまま伝わってくる力作ぞろいでした。

舞台も展示も創作者の「個性」が光る発表でした。全体の係としてパンフレットの作成や文化祭当日の進行を中心に力を尽くしてくれた文化委員の皆さん、本当にご苦労さまでした。



保護者の皆さまへ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

昨日開催した文化祭では、大変残暑厳しい中、多くの皆さまにご観覧いただきありがとうございました。

この行事を通して、失敗を恐れずに挑戦することの意義を多くの生徒が学んでくれたことと思います。

10月の体育大会に向けて、引き続き、ご家庭でもお子様への励ましをいただけますと幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

※「文化祭の様子」を本校ホームページ>学校生活の様子>Xより、今後順次アップしていきます。